

科 目 名

技術者倫理Ⅱ Ethics for Civil Engineers Ⅱ
--

4年 後期 2単位 選択

林 健 一

概 要

現在、土木建設に携わる産業界は未曾有の危機的状況にある。国内の社会資本の蓄積が飽和状態になりつつあることに加えてバブル経済崩壊の痛手が今なお回復し切れていないことがその背景にある。高度に洗練された土木建設技術が社会的背景の下で不要視されることは真にもったいなく、これを海外の社会基盤整備に有効に活用していくことが求められている。しかしながら、技術のみの海外移転ではなく、わが国の社会基盤整備の過程で培われた技術者倫理も反省も含めて展開するべきである。そのような観点から、事例分析を中心にしてあなたならどのように対処するかを倫理的な側面から検討する。

目 標

1. 道徳と倫理とは何かを理解する。
2. なぜ技術者に倫理が必要なのかを理解する。
3. 社会に対する技術者の使命を理解する。

授業計画

1. 技術者倫理の定義
2. 技術者は如何にあるべきか
3. 時代とともに変遷する倫理規定
4. 技術者の行動指針
5. 技術者としての主張
6. 技術者が遭遇する倫理問題

評価方法

出席状況、レポートおよび定期試験により総合的に評価する。

教 材

土木学会、土木教育委員会倫理教育小委員会編「土木技術者の倫理、事例分析を中心として」
その他、資料を使って視覚的に説明する。

履修上の注意

出席率が2/3以上ある人のみ定期試験の受験資格を与える。